

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和 5年 3月31日
学)大原学園 府中ひばり幼稚園

1. 本園の教育目標

1. 元気に遊ぶ子ども
2. 素直に表現できる子ども
3. 最後までやり通す子ども
4. お互いを大切にしよう子ども
5. 自然を大切にする子ども

2. 本年度重点に取り組む目標・計画

幼児一人ひとりの育ちに合った指導を心掛けると同時に、より質の高い教育を目指す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取組状況
1	園児が安全に幼稚園生活を送れるように、園舎内外の環境整備を図る。(コロナ禍における工夫を含)	A	園庭や保育室の整備を計画実行し、園児が安全に過ごせるようにした。また、園児に対して感染症予防のため手洗い・手指消毒等の指導をした。また、ブロック等の室内遊具の充実を行った。
2	幼児教育の質の向上のため、指導計画の見直しを図る。	A	園児の年齢や育ちに合わせた指導計画を目指し、より質の高い教育を提供出来るように年3回定期的に話し合いを設け、意見交換を行った。
3	専門講師による音楽・体操・英語等、指導内容や時間等の見直しをする。	B	専科の講師に年間カリキュラムの提出を依頼した。それに基づき講師と担任が連携しながら園児の指導にあたりると同時に時間配分等も工夫した。

評価(A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	上記3つの評価項目についてコロナ禍ではあったが、取り組んだ結果園児一人ひとりに寄り添いながら『育ち』を意識した教育が実践出来た。また、4月には小学校入学を迎える年長児に対し、出来る限りの助言・援助を実践し、スムーズな小学校への移行を意識した指導が出来た。今後も、就学児前における大切な幼児教育の質の向上を目指し、研鑽していきたい。

評価(A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
教育環境	保育内で行う専門家による音楽・体操・英語等の年齢に応じた指導の充実を図り、質の高い教育を目指すと共に、日々の教育も研修等を重ねながら保育者(教諭)自身のスキルアップを目指す。(様々な特性を持つ園児たちへの対応を意識する)
安全管理	幼稚園生活において、園児が毎日安全に過ごすことが出来るように、園舎内外の環境整備に努めていく。
幼小連携	幼児期の終わりまでに育てて欲しい10項目を意識し、園児たちがスムーズに小学校へ進学出来るように指導を進める。

6. 学校関係者評価委員会の評価

園児たちが園庭でのびのびと遊んでいる様子が伺われ、元気であると感じ好印象を持っており、その園児たちが訪問者に対し自ら挨拶出来ることが素晴らしいと感じている。また、専門講師による指導を受けられることに魅力を感じている。そして、コロナ禍においても、日々教職員が教育目標に基づき、園児一人ひとりに対して丁寧な指導が行われている様子が伝わって来た。